

# 小田原史談

第279号

発行所 小田原史談会  
小田原市南町 4-1-2c  
TEL 281-3355

セミナー講演録

## 小田原の豊かな海とさかなの

### 明治時代以降の変遷

(講師) 石戸谷 博範

(元神奈川水産技術センター相模湾試験場長)

石戸谷です。よろしくお願  
します。二時間と言う長丁場  
ですが、なるべく楽しく、途中  
でちよつとお休みを入れます  
ので、ゆつたりとお聞きにな  
って下さい。



写真1 石戸谷博範さん

海から小田原を見る

それでは、「小田原の豊かな海とさかなの明治時代以降の変遷」ということでお話しします。

この写真2は、小田原の片浦の山から定置網を撮ったところ  
です。岸近くに大きな網があ  
つて、漁船がこつやつて定置網の  
周りで作業をしている。この  
うのが小田原の海の豊かさだ  
と  
思います。

さて、海から小田原を見てみ  
ようということですが、生物多  
様性の源である山、川、海の豊  
さがよく分かります。小田原の  
海は山々に守られています。小  
田原市街の向こうに見える箱根  
丹沢、大山は大きな魚付林で、酒  
匂川、早川は養分を伝える血管



写真2 片浦沖の定置網

に例えることができます。

続いて、源頼朝公挙兵の地、石  
橋山より望む片浦の海です。非  
常に美しい海が真鶴半島に向か  
つて広がっています。本当にこ  
の景色は日本でも有数の美しさ  
だ  
と思います。

さて、小田原市街や米神沖か  
ら見える箱根の山々、この緑の  
木々が表土を守り海の豊かさを  
支えています。この米神の護  
岸がグリーンに塗られています  
ね。これは実はブリを驚かせな  
いためなんです。

漁師さんが、山からこつ来て、

二百七十九号(令和六年十月号)

#### 目次

セミナー講演録

小田原の豊かな海とさかなの

明治時代以降の変遷

講師 石戸谷 博範……………1

親父から聞いた

根府川の関東大震災被害

講師 内田 昭光……………13

中世小田原の郷土料理について

講師 米山 昭……………20

スケッチ川柳

宍戸 忠夫……………29

小田原史談会の

応援ホームページ開設!

神崎谷 行雄……………30

「二〇〇年先まで伝えたい

—関東大震災 小田原の記憶—」出版!

青木 良一……………12

平成七年・初詣のお誘い

遠江国一宮「小國神社」と

掛川市城址を巡る……………31

新入会員、会員募集……………12

賛助会員、落穂集……………32